

地区の事業に着手したところであり、また、交通量の多い市道、下興野・中野線などについては、消雪パイプを設置し、冬期間における円滑な通行を確保してまいりたいと考えているところであり、また、

次に住宅・市街地の整備について、近隣市町村への交通の利便性が高い上に、文教・福祉サービスや住環境が比較的整備されていることから、持ち家を指向する人の転入が多いことが特徴となっており、



4車線化が望まれる国道403号線

「土地区画整理事業」を支援し、宅地供給による地域の活性化を目指したいと考えているところであり、

市営住宅についてであり、西島住宅の建替事業は今年度で完了しますが、新栄町住宅の建替事業については、新年度において実施してまいります。また、田島住宅の下水道接続や新栄町住宅の駐車場整備など、既設の市営住宅についても、居住環境の改善に努めてまいります。

また、公園と現地が著しく異なる地図混乱地域について、土地に関連するさまざまな支障をきたしている事態を改善するため、地籍調査の実施に向けて準備を進めてまいりたいと考えているところであり、

あります。

次に安全・快適な生活環境対策についてであります。

災害に対してそれぞれの地域の持つ危険性を分析し、市民の生命や財産を守る有効な方策を講じ、都市機能を維持することは、国及び地方公共団体の大きな責務であります。

まず水害対策についてであります。当市におきましては、短時間の降雨が排水能力を超えて市街地に一挙に溢れ出る「都市型・内水型水害」への備えを優先的に実施することとし、荻川ポンプ場の運転開始や南部雨水一号幹線の信越本線横断個所の改良により、浸水被害に対して大きな効果が認められたところであり、今後も引き続き荻川地区をはじめ、南部地区、金沢町地区で公共下水道事業による雨水対策を推進してまいりたいと考えております。

食から発生する食品廃棄物を利用に合わせた堆肥として再利用できるような、有用性微生物（EM）の選定や温度管理、加工など、食品廃棄物処理に関する技術開発を文部科学省の支援を得て新潟薬科大学とともに推進し、廃棄物減量化・再資源化や有機栽培の普及に取り組んでまいりたいと考えております。

ダイオキシン類対策についてであります。厚生労働省は昨年十二月から新たなダイオキシン類の恒久対策基準を適用し、住民の健康不安を払拭することといたしました。当市においても、この厳しい基準に基づき、クリーンセンターの「排ガス高度処理施設整備事業」を実施したところであります。今後は、ダイオキシン類排出の一層の低減のため、焼却炉の二十四時間運転を目指し、周辺地域の生活環境影響評価調査の実施もしたいと考えております。

また、老朽化した尿処理施設に代わり、し尿と浄化槽汚泥を下水道処理施設で処理できるよう、

いては、県によって流下能力をこれまでの約二倍とする改修工事が順調に進んでおりますので、これらの完成を見守りたいと思っております。また、県が住民参加を得ながら計画を策定している「能代川水辺サイクリングロード整備」については、早期の着手を働きかけ、水と緑のネットワークの充実を目指してまいりたいと考えております。一方、国内でも有数の大河である信濃川や阿賀野川の増水については、沿線住民への的確な増水情報などを迅速に提供する体制整備が重要であります。現在、国土交通省が要所に設置している河川監視カメラの映像を当市でも受像し、有事の監視体制を強化するほか、関係機関との情報共有化などの連携を一層深めてまいりたいと考えているところであり、

次に消防対策についてであります。当市におきましては、災害時のコミュニティ放送による情報伝達、自主防災組織の充実、防火指導など、災害時の被害を最小限にとどめるよう知識の普及や組織づくりなど、幅広い体制充実に努めているところであります。新年度においては、特に老朽化した消防車両の更新を計画したところであり、水槽付き消防ポンプ自動車を購入し、火災発生時の即応力を強化するとともに、引き続き消火栓

現在建設中の投入施設の早期完成を目指しております。一方、公共下水道事業認可区域外の地域における生活排水対策については、合併処理浄化槽の設置を奨励する助成制度を新年度も継続したいと考えております。また、公共下水道汚水供用開始区域における水洗化率の向上に向け、市民の皆さんからご協力いただけるよう引き続き努力してまいります。

なお、公共下水道の整備については、第五期事業地区である南部地区、金津地区の面的整備と滝谷本町、古田、古津地区での幹線管渠整備を実施し、約六十五％の下水道普及率を目指して事業を進めてまいりたいと考えております。一方、上水道につきましては、市民に安全でおいしい水をこれからも安定して供給するため、秋葉高々区配水池の改築、及びポリエチレン製や鉛製の給水管を年次的に取り替えてまいりたいと考えております。

当市の信濃川・阿賀野川の二大

の新設など、消火用水源の確保・充実に努めるほか、職員を消防大 학교に派遣し、複雑かつ危険性を増す一方の水害・火災など、各種災害に対応できるよう、多面的な消防力の向上を目指してまいります。また、昭和二十七年四月に発足した新津市消防本部は、五十年という節目の年を迎えたことから、これを機に、消防への理解を深め、市民一人ひとりの防火意識の向上にさらに努めてまいりたいと考えているところであり、

さて、国際社会で共通の課題の一つと認識されているのが環境問題であります。二十世紀は、大量生産・大量消費型の経済社会活動が進展し、私たちはそこから大きな恩恵を享受してきました。他方で窒素酸化物や二酸化炭素などの副産物が環境に大きな影響を及ぼしており、地球温暖化防止京都会議やヨハネスブルク・サミットなどにおいて多くの指摘がなされたところであり、二十一世紀は、こうした負の産物を減らし、持続可能な社会を構築しなければならぬと認識しているところであり、

当市におきましては、環境問題への取り組みとして、地域に存在する再生可能な自然エネルギーに着目し、活用する指針としての「新津市地域新エネルギービジョン」を平成十一年度に策定したところであり、今年度は、このビジ



5周年を迎える県立植物園

河川、そして新津丘陵は、市民に限らず訪れる人の誰からも安らぎと憩いの場として親しみを持たれており、次代に引き渡すべき「宝」であると思っております。

「阿賀野川水辺プラザ事業」については、市民が水辺の自然の営みを実感し、集い、憩える場とする親水空間の創出を目指し、平成十七年度の完成に向け、引き続き取り組んでまいります。また、市外からも多くの人が訪れる新津丘陵は、古くから多様な植物や動物が生育・生息し、固有の文化を育んでまいりました。こうした環境の保全を図るとともに、地域住民

な保健事業に取り組み、とりわけ、平成十五年度を「いつ健康元年」と位置付けて事業を展開してまいります。まず、個別の検診ごとに管理しているデータについて、一

●地籍調査事業

：100万円

●消防車両購入事業

：4725万円

●環境保全推進事業

：72万円

●食品廃棄物処理システム研究事業負担金

：200万円

●合併処理浄化槽設置整備事業

：1752万円

●流域下水道し尿等投入施設整備事業

：1億6000万円

●老朽化した浄水場の施設を年次的に改良します。

：3億8300万円

●阿賀野川水辺プラザ整備事業

：6700万円

●多目的広場や休憩施設を整備します。

：6700万円

やボランティアによる森づくり活動を支援してまいりたいと思っております。一方、県においては新潟県立植物園が開園五周年を迎えることから、県民運動と合わせた記念事業を検討準備していると聞いています。新年度の早い時期に県から事業の詳細が示されるものと思っておりますが、趣旨を前向きに受けとめ、当市の宝をさらに光らせる方向で協力をしてまいりたいと考えております。

豊かな自然を有する美しいまちづくりを進めている中で、一部の心ない人によるポイ捨てや不法投棄が見られることは誠に残念であります。美しいまちは一人ひとりのモラルが創りだすものとの視点から、「全市一斉クリーン&グリーン作戦」の実施や「ポイ捨て等防止条例」の周知に継続して取り組み、意識啓発に粘り強く努めたいと考えております。

最終処分場の建設については引き続き努力を続けてまいりたいと考えているところであり、

2 明るく元気なまち 健康やかで優しさが響き合うまち

はじめに、健康づくりの推進についての施策であります。進行する少子高齢化や核家族化、景気の低迷といった社会情勢は、私たちの生活にも少なからぬ

影響を与えております。要介護高齢者の増加もさることながら、介護者の不足や高齢化、働き盛りの年代のストレスによる心身の疾病など、現在直面している健康面

の課題を克服するために保健・福祉・医療の連携強化が求められているところであり、

健康づくり推進事業

：1203万円

健康講演会の開催や、各種検診データの一元管理を行います。